

令和7年度

「小・中学生のためのフォレストリースクール」のご案内

群馬県では、森林や環境に関する学習支援として「小・中学生のためのフォレストリースクール」を実施しています。樹木・自然観察や自然体験遊びをはじめ、自然工作や森林に関する講義等学校の要望に応じたプログラムを作成し、講師を派遣して授業を支援します。（無料）

こんな授業での利用がおすすめです～これまでの実践例～

① 小学校1、2年生の「生活科」「図画工作科」

- ・校庭や公園の自然に親しむ活動(約45分～90分)
- ・季節の自然に親しみながら、集めた葉や種子等で自然工作をする活動(約90分～120分)
- ・育てたアサガオのつるでクリスマスリースをつくる活動(約90分～120分)



② 小学校3年生からの「理科」「総合的な学習の時間」

- ・校庭や公園の樹木を観察する活動(約45分～90分)
- ・小川での水生生物の採集や、地域の神社での自然観察を通して、身近な環境について考える活動(約90分～150分)



③ 小学校5年生の「社会科」

- ・「樹木も種子をつくるのか？」等の課題を設定した課題解決型学習(約90分～120分)
- ・森林に関する講義や林業体験を通して森の仕事を学ぶ活動(約90分～150分)



④ その他「校外学習」における様々なプログラム

- ・校庭の樹木紹介の準備学習や、校内の樹木マップ作り(約45分～90分)
- ・自然の家(林間学校)や遠足での自然観察、自然体験遊び、昆虫採集等(約90分～150分)

学校と講師と群馬県の三者で創りあげる「オーダーメイド」の授業です

フォレストリースクールの講師は「群馬県緑のインタープリター」が務めます

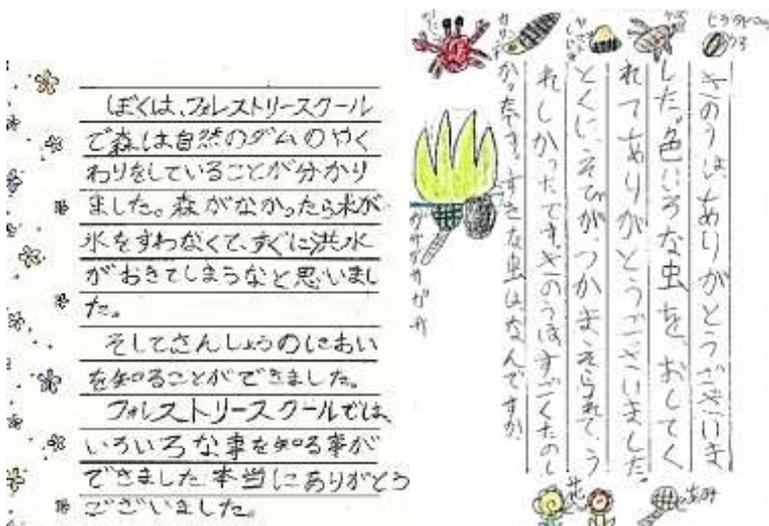
群馬県緑のインタープリターは、森林や水環境、自然に関する幅広い知識や技術を持ち、自然と人との「仲介者」になって自然解説などを行う人です。令和6年度は、58校83回のフォレストリースクールで自然観察や自然体験遊びなどさまざまな活動をしました。



子どもたちに「気づき」や「発見」、「感動」のある授業を提供します

フォレストリースクールを利用した学校の声

- 直接見たり触れたりすることで、地域の自然環境に興味・関心をもつことができました。樹木や草花、昆虫などに関する様々な知識を、子ども達にわかりやすい言葉で丁寧に教えていただき、とても勉強になりました。
- 講師の先生と落ち葉を使ったゲームをしました。葉っぱに触れて、葉の形や色の違いなどに気づいたり、特徴などを教えてもらったりしたことで、自然に対する興味・関心を高めることができました。
- 社会科の学習内容に沿っていて、わかりやすかったです。森林整備の道具や丸太など、実物をたくさん持ってきていただいたので、よく理解できました。
- 園芸委員会の活動の一環として実施しました。木の葉を触ってにおいをかいだり葉脈のこすり出しをしたりと、実際に見たり触れたりしながら学ぶことができました。子どもたちは、普段遊んだり運動をしたりしている校庭に、こんな木があったのかと新たな気づきや発見があったようです。



【フォレストリースクール利用の流れ】

希望調査（2月）→ 正式申込み（4月）
→ 実施日決定 → 事前打合せ → 実施
→ 報告・評価

■お問合せは、群馬県環境森林部森林局
林政課森林活用推進係までお願いします。

電話 : 027-226-3216

FAX : 027-223-0463

メール : ryokuka@pref.gunma.lg.jp

WEB : 「フォレストリースクール」で検索